

News Release

日本工営、日・ブラジル経済フォーラムにて バイオ炭を用いた気候変動対策の促進に関する協力覚書を締結

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井 晴彦、以下「日本工営」）および同傘下の NIPPON KOEI LAC DO BRASIL LTDA.（本社：ブラジル連邦共和国サンパウロ州、法的代表者：Eiiti Kurokawa、以下、「BLAC」）は、2025 年 3 月 26 日に EMPRESA BRASILEIRA DE SERVIÇOS E CONSULTORIA AMBIENTAL LTDA.（本社：ブラジル連邦共和国ゴイアニア州、CEO：Ricardo César Fernandes、以下「EMBRASCA 社」と、「バイオ炭による炭素固定を通じた気候変動対策の促進」に関する協力覚書（以下、本 MOU）を締結しました。



ジェトロ提供

(日・ブラジル経済フォーラムの様子)

日本との国交 130 周年を記念したルーラ・ブラジル連邦共和国大統領の来日に合わせて、3 月 26 日に東京都内で開催された日・ブラジル経済フォーラムにおいて本 MOU の締結を発表しました。日本工営は 2024 年 5 月に、EMBRASCA 社と「気候変動ソリューション案件形成」に係る協力覚書を締結しています。これは温室効果ガス排出源であり環境負荷の高い下水汚泥や、有効活用されていない畜産・農業残渣などの有機物の炭化により、温室効果ガス削減を実現するとともに、製造された炭化物はバイオ炭※として肥料、エネルギー、建設材料などとして利活用することで、社会課題解決に貢献する案件の形成を目指したものです。

※土壌への炭素貯留効果とともに土壌の透水性を改善する効果が認められている土壌改良資材。



ジェトロ提供

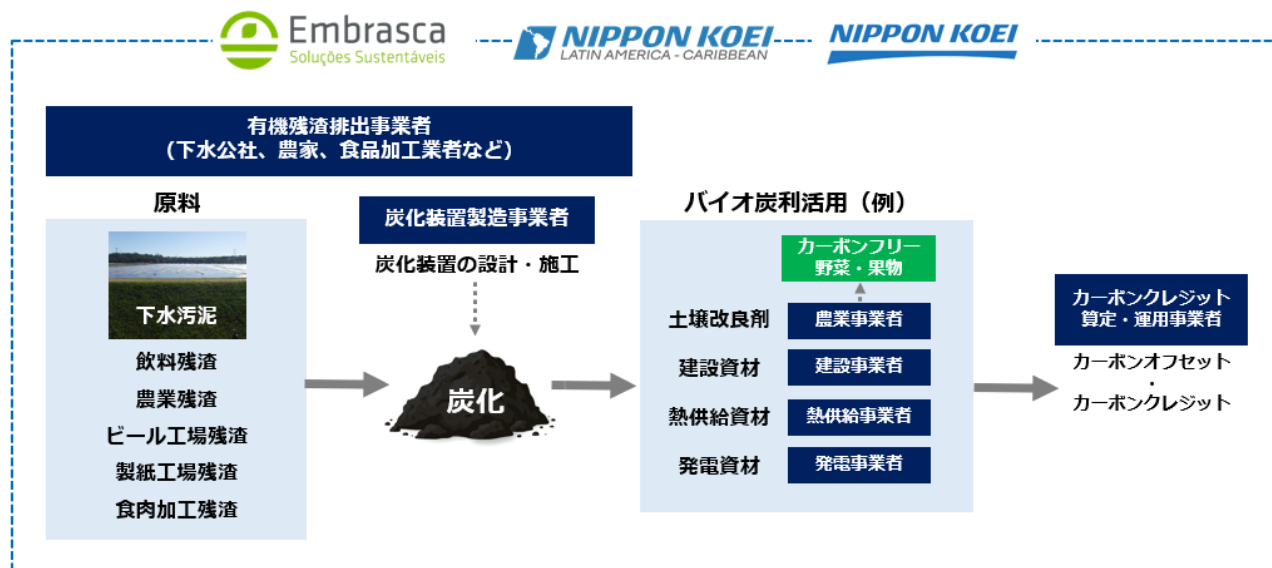
(日・ブラジル経済フォーラムの様子)



(左側が BLAC 社 Eduardo Kurokawa 氏、右側が
日本工営 代表取締役社長 金井)

本 MOU では、ソフト・ハードの両面のコンサルティング技術で強みを持ち、ブラジルの商習慣や事業ノウハウに精通している BLAC を新たなメンバーとして加え、バイオ炭活用促進およびカーボンクレジット創出事業に係る個別事業の実施を目指すものとなります。

3 社が持つ国内外の技術とネットワークを活かし、バイオ炭活用等によるカーボンクレジット創出事業を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



バイオ炭活用促進およびカーボンクレジット創出事業の概要図

—本件に関するお問い合わせ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室
TEL : 03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>